

2020年度第4回革新的製品創出サロン[令和3年1月21日]を開催しました。

A. ご講演(1)「はやぶさ、はやぶさ2から始まる太陽系大航海時代」

～やれる理由こそが着想を生む。はやぶさ式思考法～

JAXA 宇宙科学研究所 特任教授 川口 淳一郎 氏

昨年12月、日本中に宇宙科学の明るい話題を提供してくれた「はやぶさ2」及び初号機「はやぶさ」につき、今更聞けない、はやぶさプロジェクトの意義から人材育成への応用に至るまで、JAXAの川口先生より平易に解説して頂きました。“小天体こそペールを剥がす目標たるべきもの”であり、手軽に出来るから小惑星を選択したのではなく、地殻内部情報の採取という本来の目的からの当然の帰結であること。世界を相手に競争する過程で設定した目標及び獲得した成果は世界オンリーワンに溢れたものであること等を聴取し、はやぶさの凄さを再確認しました。またその伝統はペンシルロケットで有名な糸川英夫博士を源流とする等、過去の栄光から現在までが繋がり、日本人として誇らしい限りです。

またプロジェクト活動から得られた箴言のうち、深く刺さった例を示すと、①「プロジェクトに似た仕事をしている」②「ロードマップを作りたがる」③「部品プログラムが走り出す」、があります。逆説的に響きますが今後に生かすべきものが多い宝の山講演でした。

B. ご講演(2)「チャレンジから生まれる新商品開発」

㈱ノリタケカンパニーリミテド 代表取締役 小倉 忠 氏



中部生産性本部の会長でもある小倉氏よりのご講演。日本初導入・開発のスタティックミキサー(左図)を引っ提げて関連産業への強力な売り込みを拡大させ、社内に加工機事業を立ち上げ、エンジニアリング本部までに発展させられたお話は風雲児の物語を聞いているようで、興味深く拝聴しました。確実・安定な実績を重ねた製造販売部門と、野武士集団と称されるエンジニアリング部門とはそのカルチャーが大きく

異なり、喜怒哀楽に満ちた会社生活であったと拝察。

講演の終盤では自分への励ましの言葉・戒めの言葉として有名な格言、名言をアソートされた。これは当サロン会員の経営幹部メンバーへのプレゼントとなり歓迎されました。

C. 情報提供 令和2年度3次補正・令和3年度当初予算(経産省関係)各種支援施策

中部経済産業局 地域経済部 地域経済課 小柳 淳也 氏

梶山弘志経産相の年頭所感の紹介から始まり当該予算の施策動向を概括。なお本サロン向けに各施策のリンク先URL等のご案内を頂戴しましたので、皆様にメール回覧致します。

D. 新メンバーによる企業プレゼン:

トヨタテクニカルディベロップメント(株) 計測制御事業本部 山口 智明 氏

同社の沿革と今後につき発表。T社関連の開発惑星を包み込む大気圏というイメージ。今後フィールドを広くしていくので今迄のステークホルダと違う企業との関係も出てくるとの事であり期待したい。(小澤記)